

日本共産党



高木 武志

重症心身障害者福祉年金
制度の存続を求める

問 この制度は、本市独自の年金制度で、身体・知的・精神の障がいのある人に、20歳未満は年間2万2千円、20歳以上は年間1万3千円が支給される。

加茂診療所廃止の撤回を
求める

問 診療所廃止の議案が12月議会に突然提案された。民生福祉委員会では、町内会への説明会が遅れ提案が遅くなったと説明があったが、地域住民の多くは町内会で説明を聞いたことがないとのことだ。地域住民に十分な説明もなく、意見を聴取することもなく廃止することは問題だ。

3月議会には、廃止撤回を求める1200筆を超える請願署

低い水準での生活を余儀なくされている障がい者にとって貴重な資金となっているが、障がい者の各種制度が充実したという理由で廃止される。

市長に制度の存続を求める署名が提出されたが、将来への不安や怒り、存続してほしいという切実な思いである。制度の存続を強く求める。

答 広く障がいのある人や高齢者が必要とする相談や生活支援の事業へ施策転換していく必要があると判断した。

名が提出された。署名された人の多くが加茂地域の住民である。廃止を撤回することを求める。

答 連合会の役員、単位町内会長等に廃止の決断に至る理由を説明し、一定のご理解をいただいた。25年3月末の廃止に向けて、患者さんが希望される医療機関への紹介を行っており、引き続き患者さんの意向に沿いながら丁寧な対応に努める。



市民連合



法木 昭一

特別養護老人ホームの
待機者の現状と解消策は

問 25年度は地域密着型特別養護老人ホーム5施設、140床を整備することのだが、待機者の現状と25年度整備後の見通し、今後の待機者解消策は。

福山サービスエリアへの
スマートインターチェンジ設置は

問 ①完成までのスケジュールは。
②通行可能車両は。
③アクセス道路整備の具体は。

答 ①25年2月に地元代表や関係機関等で構成する地区協議会を開催し、実施計画の承認を得た。25年度はアクセス道路等の設計に着手し、26年度から整備工事に取



答 24年4月現在、要介護3から5の施設入所申込者は544人である。25年度は特別養護老人ホーム140人分と、入居している高齢者に介護サービスを提供する特定施設308人分を整備し、計448人分の高齢者の入居施設を確保する。また、本市の先進的な取り組みである小規模多機能型などの在宅サービスの充実も待機者の解消につながると考える。
今後の施設整備は、27年度から始まる第6期介護保険事業計画策定の中で検討する。

②周辺の道路状況等から、ETCを搭載した全長6メートル以下の車両としている。

③国道2号からの主要ルートとなる高浦長者ヶ原線や山手赤坂線などの約2キロメートルで、安全面に配慮し、2車線を確保する整備を行う。

※地域密着型特別養護老人ホーム：定員が29人（国の基準）以下で、条例で定められた人数以下の特別養護老人ホーム。